

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際自然環境アウトドア専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養専門課程	野外教育・アウトドアスポーツ学科	夜・通信	2440 時間	240 時間	
	自然ガイド・環境保全学科	夜・通信	2180 時間	240 時間	
	山岳プロ学科	夜・通信	2266 時間	240 時間	
	クライミングインストラクター学科	夜・通信	2306 時間	240 時間	
	アウトドアプロインストラクター学科	夜・通信	1642 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

野外教育・アウトドアスポーツ学科 <a href="https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/yagai_r3.pdf">https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/yagai_r3.pdf</a> 自然ガイド・環境保全学科 <a href="https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/shizen_r3.pdf">https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/shizen_r3.pdf</a> 山岳プロ学科 <a href="https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/sangaku_r3.pdf">https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/sangaku_r3.pdf</a> クライミングインストラクター学科 <a href="https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/crimming_r3.pdf">https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/crimming_r3.pdf</a> アウトドアプロインストラクター学科 <a href="https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/outdoor_r3.pdf">https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/outdoor_r3.pdf</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国自然環境アウトドア専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

[https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/rijimeibo\\_r3.pdf](https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/rijimeibo_r3.pdf)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2019年6月 1日～2023 年5月31日	教育統括的観点
非常勤	大学教授	2019年6月 1日～2023 年5月31日	教育統括的観点
非常勤	団体職員	2019年6月 1日～2023 年5月31日	政策的観点
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際自然環境アウトドア専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>学科毎に設けている教育目標・人材育成像に則り、学生が体系的かつ主体的に学習できるようにカリキュラムを編成し、これに従い教育を実施する。</p> <p>作成計画</p> <p>2月：教務部会議 カリキュラム決定、シラバス案策定</p> <p>3月：授業概要説明、シラバス確定</p> <p>4月：シラバス公表（ホームページへ掲載）</p> <p>公開については、ホームページにて公開を行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>野外教育・アウトドアインストラクター学科  <a href="https://www.inac.ac.jp/common/pdf/disclosure/syllabus_yagai_r3re.pdf">https://www.inac.ac.jp/common/pdf/disclosure/syllabus_yagai_r3re.pdf</a></p> <p>自然ガイド・環境保全学科  <a href="https://www.inac.ac.jp/common/pdf/disclosure/syllabus_shizen_r3re.pdf">https://www.inac.ac.jp/common/pdf/disclosure/syllabus_shizen_r3re.pdf</a></p> <p>山岳プロ学科  <a href="https://www.inac.ac.jp/common/pdf/disclosure/syllabus_sangaku_r3re.pdf">https://www.inac.ac.jp/common/pdf/disclosure/syllabus_sangaku_r3re.pdf</a></p> <p>クライミングインストラクター学科  <a href="https://www.inac.ac.jp/common/pdf/disclosure/syllabus_crimming_r3re.pdf">https://www.inac.ac.jp/common/pdf/disclosure/syllabus_crimming_r3re.pdf</a></p> <p>アウトドアプロインストラクター学科  <a href="https://www.inac.ac.jp/common/pdf/disclosure/syllabus_outdoor_r3re.pdf">https://www.inac.ac.jp/common/pdf/disclosure/syllabus_outdoor_r3re.pdf</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

- 1) 成績評価は各科目毎の授業終了時に評価を行う。
- 2) 成績評価は、その年度の試験の成績並びに出席率、普段の授業態度、確認テスト、課題提出、検定取得状況、大会成績等の資料によって決定する。
- 3) 出席率が80%未満の場合、原則として評価は行わない。(D不可となる)
- 4) 実習系の科目評価は、提出課題や出席率で60点以上を合格とする。実習系の科目でも筆記試験を課すことがある。
- 5) 講義系の科目は、筆記試験を行い、100点満点中60点以上を合格とする。
- 6) 評価形式  
成績評価はA、B、C、Dの4段階およびPとする。
  - ・ A (優) 80点以上
  - ・ B (良) 70点以上
  - ・ C (可) 60点以上70点未満
  - ・ D (不可) 60点未満
  - ・ P (認定)

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学生の成績状況を把握できるよう、各科目評価を100点満点で点数化し、合計点を科目数で割った平均点を指標とする。

- ・ 算出された指標は、成績分布状況の把握に使用する。
- ・ 成績分布は、成績評価をもとに作成する。
- ・ 成績分布の下位の学生に対し、指導を行う場合がある。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

[https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/seiseki\\_shihyo.pdf](https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/seiseki_shihyo.pdf)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

当校では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の要出席時間数を受講した学生に対して卒業を認定する。年度末の判定会議において審査し決定する。

#### ディプロマポリシー

- 1、 学校で学んだ専門知識・技術及び社会人基礎力を備えていること。
- 2、 志と感謝心を持ち、自然に係る業界での活躍・社会に貢献しようという熱意をもっていること。
- 3、 多様性を受け入れるマインドを持ち、グローバル社会でのコミュニケーション能力をもっていること。

#### 卒業条件基準

- ・ 全年次の要出席時間数の80%以上出席していること。なお、要出席時間数には学校行事も含まれる。
- ・ 全年次に開講された科目において、全てC以上、またはPの科目評価を受けていること。
- ・ 授業料等の必要な費用が納入済であること。
- ・ 海外研修旅行に参加していること

以上を卒業判定会議において審査し、卒業・留年を決定する。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

<https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/sotsugyo.pdf>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	国際自然環境アウトドア専門
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/taisnyaku_r3.pdf">https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/taisnyaku_r3.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/syushi_r3.pdf">https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/syushi_r3.pdf</a>
財産目録	<a href="https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/zaisan_r3.pdf">https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/zaisan_r3.pdf</a>
事業報告書	<a href="https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/jigyohoukoku_r3.pdf">https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/jigyohoukoku_r3.pdf</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/kansa_r3.pdf">https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/kansa_r3.pdf</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門	野外教育アウトドアスポーツ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2808 単位時間/単位	272 単位 時間/単位	1174 単位 時間/単位	1170 単位 時間/単位	0 単位時 間/単位	192 単位 時間/単位
			2808 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
25人		19人	0人	4人	44人	48人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）学科毎に設けている教育目標・人材育成像に則り、学生が体系的かつ主体的に学習できるようカリキュラムを編成し、これに従い教育を実施する。 2月：教務部会議 カリキュラム決定、シラバス案策定 3月：授業概要説明、シラバス確定 4月：シラバス公表（ホームページへ掲載） 公開については、ホームページにて公開を行っている。
成績評価の基準・方法
概要）成績評価はA、B、C、Dの4段階、及びPとする。 ・A（優）80点以上・B（良）70点以上 ・C（可）60点以上70点未満・D（不可）60点未満・P（認定）
卒業・進級の認定基準
進級条件 ・1年次又は2年次の要出席時間数の80%以上出席していること。 なお、要出席時間数には学校行事も含まれる。 ・1年次又は2年次に開講された科目において、全てC以上、またはPの科目評価を受けていること。 ・授業料、実習費等の必要な費用が納入済であること。 ・その他、生活行為等において問題がないこと。

<p>以上を進級判定会議において審査し、進級・留年を決定する。</p> <p>卒業条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全年次の要出席時間数の 80%以上出席していること。なお、要出席時間数には学校行事も含まれる。</li> <li>・ 全年次に開講された科目において、全て C 以上、または P の科目評価を受けていること。</li> <li>・ 授業料等の必要な費用が納入済であること。</li> <li>・ 海外研修旅行に参加していること</li> </ul> <p>以上を卒業判定会議において審査し、卒業・留年を決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) 担任制度、就職サポート制度があり学校生活から就職活動まで幅広く支援体制を設けている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6 人 (100%)	0 人 ( 0%)	4 人 ( 66%)	2 人 ( 33%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>(株) やる気スイッチグループ、(株) ゴールドウィン、公益財団法人新潟県都市緑化センター</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>学生個々の適正を把握し個別指導を実施している。インターンシップ制度があり現場体験から就職へと結びつける。求人情報も学生に向けて紹介している。</p>			
<p>(主な学修成果 (資格・検定等) )</p> <p>日本山岳ガイド協会認定 自然ガイドステージⅡ、日本キャンプ協会 キャンプデレクター2級</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	0 人	0 %
<p>(中途退学の主な理由)</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>クラス担任、教科担当による面談を随時実施し学生の生活状況の把握を行っている。</p>		



分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養		文化・教養専門	自然ガイド・環境保全学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2801 単位時間/単位		368 単位 時間/単位	1157 単位 時間/単位	1148 単位 時間/単位	0 単位時 間/単位	128 単位 時間/単位
				2801 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人		15人	0人	4人	63人	67人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）学科毎に設けている教育目標・人材育成像に則り、学生が体系的かつ主体的に学習できるようカリキュラムを編成し、これに従い教育を実施する。</p> <p>2月：教務部会議 カリキュラム決定、シラバス案策定</p> <p>3月：授業概要説明、シラバス確定</p> <p>4月：シラバス公表（ホームページへ掲載）</p> <p>公開については、ホームページにて公開を行っている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）成績評価はA、B、C、Dの4段階及びPとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A（優）80点以上・B（良）70点以上</li> <li>・ C（可）60点以上70点未満・D（不可）60点未満・P（認定）</li> </ul>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>進級条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年次又は2年次の要出席時間数の80%以上出席していること。</li> </ul> <p>なお、要出席時間数には学校行事も含まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年次又は2年次に開講された科目において、全てC以上、またはPの科目評価を受けていること。</li> <li>・ 授業料、実習費等の必要な費用が納入済であること。</li> <li>・ その他、生活行為等において問題がないこと。</li> </ul> <p>以上を進級判定会議において審査し、進級・留年を決定する。</p> <p>卒業条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全年次の要出席時間数の80%以上出席していること。なお、要出席時間数には学校行事も含まれる。</li> <li>・ 全年次に開講された科目において、全てC以上、またはPの科目評価を受けていること。</li> <li>・ 授業料等の必要な費用が納入済であること。</li> <li>・ 海外研修旅行に参加していること</li> </ul> <p>以上を卒業判定会議において審査し、卒業・留年を決定する。</p>

<p>学修支援等</p> <p>(概要) 担任制度、就職サポート制度があり学校生活から就職活動まで幅広く支援体制を設けている。</p>
---

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	0人 (%)	3人 (60%)	2人 (40%)
(主な就職、業界等) 環境調査会社、環境教育施設、リゾートホテル			
(就職指導内容) 学生個々の適正を把握し個別指導を実施している。インターンシップ制度があり現場体験から就職へと結びつける。求人情報も学生に向けて紹介している。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 自然ガイド (ステージⅡ)、生物分類技能検定3級、2級ビオトープ計画管理士、ネイチャーゲームリーダー			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任、教科担当による面談を随時実施し学生の生活状況の把握を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門	山岳プロ学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2746 単位時間/単位	448 単位 時間/単位	1024 単位 時間/単位	1146 単位 時間/単位	0 単位時 間/単位	128 単位 時間/単位
			2746 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
55人		15人	0人	4人	108人	112人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）学科毎に設けている教育目標・人材育成像に則り、学生が体系的かつ主体的に学習できるようカリキュラムを編成し、これに従い教育を実施する。</p> <p>2月：教務部会議 カリキュラム決定、シラバス案策定</p> <p>3月：授業概要説明、シラバス確定</p> <p>4月：シラバス公表（ホームページへ掲載）</p> <p>公開については、ホームページにて公開を行っている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）成績評価はA、B、C、Dの4段階及びPとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A（優）80点以上・B（良）70点以上</li> <li>・C（可）60点以上70点未満・D（不可）60点未満・P（認定）</li> </ul>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>進級条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次又は2年次の要出席時間数の80%以上出席していること。</li> </ul> <p>なお、要出席時間数には学校行事も含まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次又は2年次に開講された科目において、全てC以上、またはPの科目評価を受けていること。</li> <li>・授業料、実習費等の必要な費用が納入済であること。</li> <li>・その他、生活行為等において問題がないこと。</li> </ul> <p>以上を進級判定会議において審査し、進級・留年を決定する。</p> <p>卒業条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全年次の要出席時間数の80%以上出席していること。なお、要出席時間数には学校行事も含まれる。</li> <li>・全年次に開講された科目において、全てC以上、またはPの科目評価を受けていること。</li> <li>・授業料等の必要な費用が納入済であること。</li> <li>・海外研修旅行に参加していること</li> </ul> <p>以上を卒業判定会議において審査し、卒業・留年を決定する。</p>

<p>学修支援等</p> <p>(概要) 担任制度、就職サポート制度があり学校生活から就職活動まで幅広く支援体制を設けている。</p>
---

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	人 (%)	4人 (44%)	5人 (56%)
(主な就職、業界等) 株式会社 Lamontee、平野電業株式会社、株式会社ケンコー社、NPO 法人白川郷自然共生フォーラム			
(就職指導内容) 学生個々の適正を把握し個別指導を実施している。インターンシップ制度があり現場体験から就職へと結びつける。求人情報も学生に向けて紹介している。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 日本山岳ガイド協会認定 登山ガイドステージⅡ			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任、教科担当による面談を随時実施し学生の生活状況の把握を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化・教養		文化・教養専門	クライミングインストラクター学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数  2754 単位時間／単位		開設している授業の種類		
	昼			講義	演習	実習
3年			264 単位 時間/単 位	528 単位 時間/単 位	778 単位 時間/単 位	1184 単位 時間/単 位
		2754 単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
15人	4人	0人	4人	21人	25人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）学科毎に設けている教育目標・人材育成像に則り、学生が体系的かつ主体的に学習できるようカリキュラムを編成し、これに従い教育を実施する。</p> <p>2月：教務部会議 カリキュラム決定、シラバス案策定</p> <p>3月：授業概要説明、シラバス確定</p> <p>4月：シラバス公表（ホームページへ掲載）</p> <p>公開については、ホームページにて公開を行っている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）成績評価はA、B、C、Dの4段階及びPとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A（優）80点以上・B（良）70点以上</li> <li>・ C（可）60点以上70点未満・D（不可）60点未満・P（認定）</li> </ul>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>進級条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年次又は2年次の要出席時間数の80%以上出席していること。</li> </ul> <p>なお、要出席時間数には学校行事も含まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年次又は2年次に開講された科目において、全てC以上、またはPの科目評価を受けていること。</li> <li>・ 授業料、実習費等の必要な費用が納入済であること。</li> <li>・ その他、生活行為等において問題がないこと。</li> </ul> <p>以上を進級判定会議において審査し、進級・留年を決定する。</p> <p>卒業条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全年次の要出席時間数の80%以上出席していること。なお、要出席時間数には学校行事も含まれる。</li> <li>・ 全年次に開講された科目において、全てC以上、またはPの科目評価を受けていること。</li> <li>・ 授業料等の必要な費用が納入済であること。</li> <li>・ 海外研修旅行に参加していること</li> </ul> <p>以上を卒業判定会議において審査し、卒業・留年を決定する。</p>

<p>学修支援等</p> <p>(概要) 担任制度、就職サポート制度があり学校生活から就職活動まで幅広く支援体制を設けている。</p>
---

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100%)	人 (%)	2人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 平野電業株式会社、playクライミングジム、			
(就職指導内容) 学生個々の適正を把握し個別指導を実施している。インターンシップ制度があり現場体験から就職へと結びつける。求人情報も学生に向けて紹介している。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 日本山岳ガイド協会認定 フリークライミングインストラクター インドア資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任、教科担当による面談を随時実施し学生の生活状況の把握を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門	アウトドアプロイン ストラクター学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1922 単位時間/単位	152 単位時間 /単位	536 単位時間 /単位	1018 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	216 単位時間 /単位
			1922 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
5人		4人	0人	4人	12人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）学科毎に設けている教育目標・人材育成像に則り、学生が体系的かつ主体的に学習できるようカリキュラムを編成し、これに従い教育を実施する。</p> <p>2月：教務部会議 カリキュラム決定、シラバス案策定</p> <p>3月：授業概要説明、シラバス確定</p> <p>4月：シラバス公表（ホームページへ掲載）</p> <p>公開については、ホームページにて公開を行っている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）成績評価はA、B、C、Dの4段階及びPとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A（優）80点以上・B（良）70点以上</li> <li>・ C（可）60点以上70点未満・D（不可）60点未満・P（認定）</li> </ul>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>進級条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年次又は2年次の要出席時間数の80%以上出席していること。</li> </ul> <p>なお、要出席時間数には学校行事も含まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年次又は2年次に開講された科目において、全てC以上、またはPの科目評価を受けていること。</li> <li>・ 授業料、実習費等の必要な費用が納入済であること。</li> <li>・ その他、生活行為等において問題がないこと。</li> </ul> <p>以上を進級判定会議において審査し、進級・留年を決定する。</p> <p>卒業条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全年次の要出席時間数の80%以上出席していること。なお、要出席時間数には学校行事も含まれる。</li> <li>・ 全年次に開講された科目において、全てC以上、またはPの科目評価を受けていること。</li> <li>・ 授業料等の必要な費用が納入済であること。</li> <li>・ 海外研修旅行に参加していること</li> </ul> <p>以上を卒業判定会議において審査し、卒業・留年を決定する。</p>

<p>学修支援等</p> <p>(概要) 担任制度、就職サポート制度があり学校生活から就職活動まで幅広く支援体制を設けている。</p>
---

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 学生個々の適正を把握し個別指導を実施している。インターンシップ制度があり現場体験から就職へと結びつける。求人情報も学生に向けて紹介している。			
(主な学修成果 (資格・検定等) )			
(備考) (任意記載事項) 令和3年度新設学科の為、卒業生、就職実績がないため掲載無し			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任、教科担当による面談を随時実施し学生の生活状況の把握を行っている。		



## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
野外教育アウトドアスポーツ学科	70000 円	740000 円	1360000 円	施設設備費・施設維持費・寮費・教材購入など
自然ガイド・環境保全学科	70000 円	740000 円	1340000 円	施設設備費・施設維持費・寮費・教材購入など
山岳プロ学科	70000 円	740000 円	1350000 円	施設設備費・施設維持費・寮費・教材購入など
アウトドアプロインストラクター学科	70000 円	740000 円	1410000 円	施設設備費・施設維持費・寮費・教材購入など
修学支援 (任意記載事項)				
特待生制度、一人暮らし支援制度、奨学金制度 クライミングインストラクター学科については、募集停止の為「生徒納付金」掲載無し				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.i-nac.ac.jp/disclosure.html">https://www.i-nac.ac.jp/disclosure.html</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) (目的) 学校自己評価報告書 10 の評価項目 (1. 教育理念・目標 2. 学校運営 3. 教育活動 4. 学修成果 5. 学生支援 6. 教育環境 7. 学生の受入れ募集 8. 財務 9. 法令等の遵守 10. 社会貢献・地域貢献) における現状、課題と改善策を報告し各学校関係者評価の委員の方々より意見を頂く。 (委員会の構成) 専門分野別の関係団体、卒業生等、当校と密接に関係する者のうちから学校長が必要認められた者で構成されている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人 日本山岳ガイド協会	令和2年11月1日～ 令和3年3月31日	協会理事
(株) 山と溪谷社	令和2年11月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
国立妙高青少年自然の家	令和2年11月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
妙高市観光商工課	令和2年11月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
国際自然環境アウトドア専門学校校友会会長	令和2年11月1日～ 令和3年3月31日	卒業生
地元自治会	令和2年11月1日～ 令和3年3月31日	自治会長
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/hyoka_r3.pdf">https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/hyoka_r3.pdf</a> <a href="https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/kankeisya_r3.pdf">https://www.i-nac.ac.jp/common/pdf/disclosure/kankeisya_r3.pdf</a>		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<https://www.i-nac.ac.jp/index.html>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	国際自然環境アウトドア専門
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		-人	-人	-人
内 訳	第Ⅰ区分	-人	-人	
	第Ⅱ区分	0人	-人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				0人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

- (3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
G P A等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。